

記念講演

富士山と私

講師 山岳写真家

白籬史朗氏

開催



発行
 富士山直轄砂防
 20周年記念事業
 実行委員会
 建設省
 富士砂防工事事務所
 富士宮市三園平1100
 電話(0544)27-5221



『創り出そう、富士山との 優しいふれあいを。』を
 合言葉に、地元の二市一町の首長及び関係機関の協力
 のもとに進められている、富士山直轄砂防20周年記
 念事業の一つである、『記念講演会』が、去る二月八日
 にホワイトパレス富士市農協会館において、山岳写真
 家、白籬史朗氏を講師に迎え、『富士山と私』のテーマ
 のもとに、一般参加者など聴講者五五〇名が集まり盛
 大に開催されました。

当日は、富士山直轄砂防20周年記念事業実行委員
 会を代表して、副委員長鈴木清見富士市長より
 『富士山は文化をはぐくみ、人々の心を支えてきた貴
 重な財産であり、後世のためにも是非守らなければな
 らない』
 とのあいさつがありました。

続いて、寺本和子富士砂防工事事務所長から、世界
 各地の山に登り多くの写真を撮影され、山岳写真の第
 一人者として活躍中の講師の紹介があり、講演が始ま
 りました。

講演は、富士山の生い立ちから始まり、山との関わ
 り、写真家への動機、「好きだから、美しいから」とい
 う富士山への思いと続き、後半は、長年にわたり撮影
 された数多くの富士山の写真が、スライドで紹介され
 その美しさは会場の人々を魅了し、歓声と拍手のなか
 盛会裏に終わりました。

皆さんの参加をお待ちしています。

富士山を知ろう



シンポジウム

「富士山のなりたちと明日の姿」

● 趣旨

私たちは富士山の自然とその雄姿に支えられ生活し、文化を育ててきました。この富士山の恵みを未来につなぎ、地域の人々の安全を確保するために砂防工事が続けられています。今年は事業着手以来20年となります。

富士山のこれまでを振り返り、これからの地域の発展について考える機会として、シンポジウムを企画いたしました。

● プログラム

■ 第一部 富士山のおいたちとかかわり

- 1) 富士山の地形と地質 土 隆一氏 (静岡大学理学部教授・地球科学)
- 2) 富士山の植物 増 沢 武 弘 氏 (静岡大学理学部助教授・生物学)
- 3) 富士山と生活 若 林 淳 之 氏 (静岡学園短期大学学長)
- 4) 富士山の保全 保 科 幸 二 氏 (建設省砂防課土石流対策官)

■ 第二部 明日の姿

・わが町の今後の展望

- 1) 富士宮市長 吉田 廉 氏
- 2) 富士市長 鈴木 清見 氏
- 3) 芝川町長 鈴木 邦雄 氏

■ 第三部 パネル・ディスカッション

「富士山と地域の明日の姿」について
コーディネーター 原田 誠治 氏

1990年8月21日(火)

開場12:30 開会13:00

会場/富士宮市民文化会館(小ホール)

- 参加費/無料
- 申込み/電話で下記にお申込下さい
建設省富士砂防工事事務所
TEL0544-27-5221(代)

作品募集

〔小中学生作文・絵画募集〕

1. 募集受付期間/平成2年8月1日(水)~9月15日(土)
2. 募集受付場所/建設省富士砂防工事事務所
(富士宮市三園平1100)
3. 応募資格/富士宮市・富士市・芝川町在住
の小中学生
4. テーマ/富士山にかかわるもの
5. 表彰/優秀作品は「記念式典」で表彰
いたします。
6. 応募方法
文/400字詰め原稿用紙2枚以内
絵画/B列3版(タテ515%×ヨコ364%)
油絵具を除く画材(例えば水彩
絵具、アクリル絵具、クレヨン、
ボールペン、パステル、色鉛筆
など)を使用したものに限り。
※詳細は各学校でおたずね下さい。